



世界に希望を生み出そう

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 右近 八郎
 ガバナー補佐 海老原 三博
 会長 斎藤 孝裕
 幹事 菅野 浩司

2023-24年度 地区スローガン

ロータリーの誇りを 楽しもう!

2023-2024年度 ◆例会日/木曜日12:30 ◆例会場/かむろみの郷 穴原温泉 ぼのこころ 吉川屋
 RI会長 ゴードン マッキナー 事務局/〒960-0201 福島市飯坂町字湯町36-6 ☎・FAX (024) 543-1433
 サウス・クイーンズフェリーRC (スコットランド)

通算

5月は青少年奉仕月間

第39回 [3155] 例会報告 令和6年(2024)5月9日(木)

出席委員会報告

会員総数	36名
出席会員	25名
欠席会員	11名
出席率	69.44%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 斎藤孝裕 会長

◆ロータリーソング [我等の生業] 服部裕一 ソング リーダー

◆四つのテストの唱和 白岩裕和 職業奉仕副委員長

◆お客様紹介 (有) SACHIKO 代表取締役 河原田 充 様

🎵 今週の誕生日 🎵 5月10日 服部 裕一 会員
 5月11日 鈴木 義明 会員

.....lunch time.....

◆会長の時間



今日はゲストとして、SACHIKO 代表取締役河原田様をお迎えしてスピーチをいただきます。私が河原田様のお話で興味があるところは、“なぜ飯坂温泉を選んだか”というところです。今日はそのところを興味深くお聞きしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。ご報告ですが、4月27日に県北第二分区合同例会(山菜例会)が梁川ロータリークラブさんのホストで、やながわ希望の森公園モンタナロッジにて開催されました。私はコシアブラの天ぷらが大好きなのですが、あつという間に売り切れてしまい、他の天ぷらもいただきました。また、鶏肉がゴロっと入ったおにぎりやアグリテクノさんの茶碗蒸しなどがついていたので、持ち帰って家で食べましたが、大変美味しかったです。イベントでは、紙飛行機飛距離競争があり、鈴木牧子会員がブービー賞となりました。梁川ロータリークラブさんの渡辺会長は、商工会の会長もやられておりますが、福島県連の商工会の県連会長を今年度から仰せつかったそうで、これからのご活躍をご期待しております。最後に、例会前に福島市のコンベンション協会の方がおいでになり、会合開催の補助金についてお話がありました。今回はハードルが高く、仮に5万円をいただくにしても、50人から99人の方で、宿泊を伴う会合じゃないと補助金は難しそうです。書類は次年度の会長幹事さんと事務局さんにお渡しをしました。説明に来年またおいでになるかと思っておりますので、次年度よろしくお願ひいたします。



ロータリーソング 四つのテスト

◆幹事報告 菅野浩司 幹事

A. 月信 「ガバナー月信」5月号 No.11 「財団室 NEWS」5月号

B. 来信

①ガバナー 右近八郎 氏・地区ローターアクト委員長 渡辺浩子 様より
 「国際ロータリー第2530地区ローターアクト とき 5月25日(土) 13:30~
 第48回年次大会のご案内」 ところ ハウス オブ ベルヴィ 白河

②ガバナー 右近八郎 氏より
 「令和6年能登半島地震 支援金のお礼とご報告について」 総額 8,878,940円
 ・RI第2610地区へ各クラブ等支援金 6,364,411円
 ・他団体へ寄付等その他支援金 514,529円
 ・地区災害特別基金 2,000,000円
 ・地区取りまとめ送金 4,352,204円 直接送金 2,012,207円

③芳賀地区ラーニング委員長 より
 「第9回日台親善会議札幌大会に於けるご理解とご協力のお願ひ」
 「専門分野講師一覧提供ご挨拶の書簡および「専門分野講師一覧」、My ROTARYの「ラーニングセンターコース一覧」
 公共イメージ講師: 佐藤真也 会員

C. メーキャップ報告 4/16 地区公共イメージ委員会 佐藤真也 会員 5/1 本宮ロータリークラブ 吾妻一夫 会員

100円献金 合計 19,565円
 ご協力ありがとうございました!

◆スマイリングBOX 堀切孝敏 委員 【合計30s】

- 紺野 容樹 会員 5s ゲストに河原田充様をおむかえして 前回、前々回欠席おわび
- 鈴木 牧子 会員 5s 河原田氏をお迎えして 紙飛行機旋回してブービー賞をいただきました。 Lucky!
- 斎藤 孝裕 会員 3s ゲストの河原田様、今日はスピーチありがとうございます。
- 石川 邦俊 会員 3s たびたびの欠席おわび
- 佐藤喜市郎 会員 3s 河原田充様をお迎えして
- 堀切 孝敏 会員 3s しばらく会えませんでしたので。
- 鈴木 義明 会員 2s 前回欠席おわび
- 佐藤 真也 会員 2s 河原田充様をゲストにお迎えして 前回欠席おわび
- 川又 康彦 会員 2s 河原田君のスピーチ楽しみにしております。
- 伊藤 俊憲 会員 1s いつもエネルギーな河原田さん、スピーチよろしくお願ひします。
- 高倉 怜 会員 1s ゲストに河原田さんをお迎えして

< ゲストの紹介 > 高倉 怜 会員
 この春に代表取締役役に就任され、温泉街にショップもオープンされました。飯坂温泉をすごく愛されており、地域発展のために貢献されています。これまでの取り組み、これからの展望をお話しいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

◆ゲストスピーチ



(有) SACHIKO 代表取締役 河原田 充 様

只今、紹介にあずかりました有限会社 SACHIKO 代表取締役の河原田充と申します。まず始めに、このような素晴らしい機会を頂戴したことを厚く御礼申し上げます。今日は、『飯坂と私 飯坂と共に歩む』というタイトルを銘打って、お話をさせていただきます。私は1990年5月5日生まれ、今34歳です。経歴ですが、福島県立橋高校を卒業後、東北福祉大学で特別支援教諭を目指して教職をとっておりましたが、震災の年は教員採用試験が中止され、私が受ける時には門が狭く採用とならず、市内で保育士をしておりました。その後、南相馬市で再生可能エネルギー関連の研究職に就き、2020年にコロナ禍に入り、家業の下支えをしようと思い決めて、福島市に戻ってきました。

「SACHIKO」は私の祖母の名前で、1970年に福島市春日町で美容室を創業し、その後、野田町の八島田街道沿いに移転しまして、ブラダルの貸衣装をやっていたのですが、さらに今の本社である西道路13号沿いに社屋を移し、社交ダンスの衣装や社交ダンスの教室も運営しております。社交ダンスの河原田泰輝先生は私の実の弟で、社交ダンスのプロダンサーをやっております。家族みんなで一生懸命、皆様の晴れの下支えをやらせていただいております。各分野に分かれており「ブラダルギャラリーSACHIKO」はブライダルやゲスト、成人式や卒業式の貸衣装、「ジャパネスクギャラリーSACHIKO」は、着物のリメイクなどの分野で、福島市出身のソプラノ歌手紺野恭子さんのステージ衣装をスポンサーとしてやらせていただいております。「ソシアルSACHIKO」は社交ダンスの衣装を取り扱っており、世界大会や三笠宮杯など、フロア協賛や出展をさせていただいております。また、「SACHIKO ダンススタジオ」では、社交ダンスレッスンはもちろん、各種エクササイズ教室も持っております。私が主にやっております「kokoro」というブランドは、飯坂の良さを発揮する地元密着型ブランドと銘打って、雑貨やアパレルの販売をやっております。デザイン制作やイベントの運営企画だったり、私はカメラもやりますので、写真を撮らせていただいたり、新しくオープンさせたお店の2階で、フォトスタジオを運営しております。2024年4月に満を持して、飯坂町湯町に拠点を持つこととなり、元うたかた荘さんの後に入らせていただいたのですが、建物自体が大正時代の建物で、飯坂のレトロな町並みにフィットしています。今後は、町歩き用の貸衣装やお着物なども使っていただいたり、コスプレができる場所にもしたいと思っております。

飯坂に関わっていると皆さんに「君、飯坂出身じゃないのになんで飯坂なんだ?」「なんで飯坂にそんなに熱なんだ?」とよく言われるのですが、私も正直わかりません。これを機会に自問自答して分析してみたのですが、飯坂と私の関わり、縁というのを見ていくと、まず一つは父が実は飯坂の湯野出身です。もう一つは、家業がブライダルの貸衣装をやっておりましたので、二、三十年前は吉川屋さんや聚楽さんで毎週のように御婚礼がありました。その際に親が着付けなど、貸衣装のために来るので、私もついて来ていました。当時は、聚楽さんで世界のショーをやっていた時だったので、外に出れば下駄の音が鳴り響いて、皆さんが浴衣を着てニコニコしながら歩いていて、ショーに出る外国人の方がたくさんいて、「飯坂っていうのはすごくハイカラなんだ」と子供ながらに思った記憶があります。もう一つ、中学時代は野球の選抜チームに入っていたので、毎週、大鳥中か飯坂球場で練習がありました。また、高校時代に仲良くなった友達が飯坂出身で、私も法被を着てけんか祭りに一緒に参加していたというのも、一つの大きな縁かなと思います。2020年に福島に帰ってきて、飯坂に来た時にちょっと語弊はありますが、寂しさを感じました。コロナ禍ということもあり、街が閑散として、寂しげな雰囲気を感じ、何か恩返しができないか、お手伝いができないかと考えるようになりました。そんな中、模索していると「しゃがむ土偶」に出会います。調べると東湯野で出土したものでした。そして、「ゆげお」との衝撃的な出会い。また、サブカルチャーが好きだったので「飯坂真尋ちゃん」が飯坂ですごく発展することにも非常に縁を感じました。そうやって活動していく中で、飯坂の人たちとたくさん関わりを持つわけですが、人と人との関わり、飯坂の魅力の一つに“人”というのがあると私は思います。本当に言葉にできないバイタリティーを飯坂からもらえるというのが、私が飯坂にどっぷりハマっていくきっかけといったところだと思うのです。



まとめに入りますが、理念として「飯坂の復興なくして福島の復興なし」と、まだまだ福島の復興はしっかり終わったとは言えないと思います。この下支えをするのが、観光地である飯坂です。歴史ある飯坂が復興しないといけないと思っております。飯坂の皆さんと共に歩みながら、飯坂に恩返しをしていきたいという気持ちが私にはあります。最近結婚しまして、結婚を機に奥様と一緒に飯坂に引っ越してきました。戸籍も飯坂になりましたので、外の人じゃないよということをお伝えしようかなと思います。ご質問いただいた「鱈湖会議」ですが、イベントを企画してやらせていただいております。飯坂の中から3名ほど毎回プレゼンターを運営側で選びまして、8分間のフリースピーチをしていただきます。それをお客様が見に来るのですが、旅館さんや飯坂の飲食店さんで開催し、飯坂をとにかく面白がるという会です。今、プレ開催を含め4回ほどやっており、毎回40名くらいのお客様がおいでになります。私が知っている時代、私が知らない時代、昔の飯坂はとても栄えていました。その頃に戻すことが目標ではないのです。その頃をブラッシュアップして、昔を淘汰するのではなく、我々の世代、そして、その先の世代に向けた、新たな形での「飯坂ブランド」をしっかり立ち上げ、微力ですが、福島の飯坂、日本の飯坂、世界の飯坂に育てていきたいと思っております。皆様、ご清聴ありがとうございました。◆閉会点鐘 会長

■第12回理事会開催 5月9日(木) 13:30~「吉川屋」

《内 容》①2024-25年度小委員会所属について ②6月のプログラム ③最終夜間例会について
④新旧合同親睦・プログラム委員会の開催日について ⑤会員増強について ⑥その他

《出席者》斎藤孝裕、菅野浩司、紺野容樹、生田目正志、吾妻一夫、渡辺達也、石川邦俊、西山友幸、服部裕一、鈴木牧子、鈴木義明、佐藤真也、村上裕司 以上の会員 佐藤奈緒美 事務局